



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

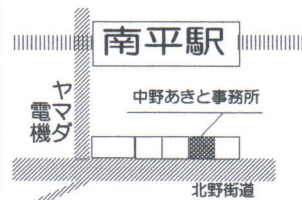
みどりと清流

中野あきと事務所 第116号
〒191-0041 日野市南平7-6-72
TEL・FAX 042-599-3350 2011年
発行責任者 小林 進 11月発行

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3400円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



党市議団が市長に 二つの申し入れ

給食食材の放射能検査の実施 学校など早急な線量測定と除染対策を

市内の集合住宅の雨どいの下で、高い線量の放射線が測定されました。放射性セシウムは塵や埃に吸着し、雨水などで流れ雨どい下や集水溝などの堆積土壌に高濃度で集積する可能性があります。市が、実態把握を急ぐと共に、除染などの対処方針を確立することが求められます。

- ① 学校、保育園、幼稚園などの緊急・一斉測定を行うこと。
- ② 平常時の年間積算量1ミリシーベルト以下（ICRP勧告）を指標値とした時間当たりの空間放射線量の目安を定め、公共施設でそれ以上の線量が測定された場合の対処方針（専門業者による再測定、立ち入り禁止措置、除染など）を確立し、市民に明らかにすること。
- ③ 市民の自主的な測定で、公共施設以外の場所でも高い線量が検出された場合も、公共施設に準じた対処を行うこと。

学校などの線量測定と除染対処方針の確立を

現在、農産物などには、都道府県による定期的なサンプル調査が行われていますが、その監視網をすり抜けるのではという不安が保護者などからあげられています。最近、消費者庁や文科省などからも、身近な自治体で放射能検査体制を整備し、食品に対する不安の解消と安全性確保をはかることが奨励され、すでに給食食材については多くの自治体が独自の検査を始めています。日野市では、かねてから地場野菜の活用、合成洗剤の追放などで安全・安心の給食を守ってきました。放射能検査についても市独自の取組を行うことは、保護者の不安に応えるだけでなく地場野菜の評価を高め、風評被害を防止する上でも役立つ取組みといえます。

給食食材は独自の放射能検査を

日本共産党市議団は、10月7日「給食食材に対する放射能検査の実施」を、10月21日には「学校などでの線量測定、除染などの対処方針の確立」を求める申し入れを馬場市長に行いました。申し入れの背景と要旨をお知らせします。



救援物資の提供・仮設住宅前

10月24～26日までの3日間、宮城県石巻で救援ボランティアの活動を行いました。今回も、たくさんの救援物資のご提供をいただきました。駅頭で配った私のビラを見て、事務所まで物資をお届け頂いた方もいらっしゃいました。

被災地の様子などの報告は、裏面をご覧ください。ご支援、ご協力、ありがとうございました。



被災地・石巻で救援 ボランティア活動 救援物資の提供 ありがとうございました

中野あきと

短信

「こんな問題で市を煩わすのは本意ではない。日野自動車が茨城に移転するとううではないか。市はもうとがなう

てほしい」生コン工場問題の報告会の最後に住民の方が言っ

た▼「多摩テックがなくなり日野自も移転。さみしい…」当事務所にもこんなお便りが。「日野自移転問題のシンポジウム開催」のビラが、日野駅前で驚くほど受け取られた。東芝に続く日野自の移転問題に市民の関心は高い▼「会社の都合で仕方ない」という声もある。「会社は株主のもの。企業は株主だけを見て売って儲ければよい」と言われてきた。しかし、そうした企業のありようが問われはじめています。株主以外にも地域社会、消費者、従業員、取引先など、様々な関係がなければ企業は成り立たないはずだと▼日野市は、優良な住宅地と工業によって成り立ってきた街だ。創業以来の付き合いで、働く人、関連会社、周辺の商店街など、日野自に関連する市民は一人以上と言われている▼八王子市の沖電気のケースでは、規模は縮小されたものの工場は存続させた。市幹部の奔走と、関係者、市民の声があったからだと言われている。

冬物衣料を暖房器具を 寒さに向かう被災地の声

今回は主に、全国から寄せられている救
援物資の整理・仕分けと、それを何台かの
トラックに積んで仮設住宅をまわり、被災
者に届ける取り組みでした。

私たちは二箇所の仮設住宅に行きました
が、被災者の皆さんが準備の段階から自然
と並びはじめ、提供を始めるときには沢山
の方が待つておられる状況です。

「とにかく冬物が欲しい」「仕事したい
のに見つからない」「こうやって回ってく
れるのはお宅たち（共産党）だけだよ」な
ど、切実な声や激励が寄せられてきます。

日野自動車の移転を考えるシンポジウム 地域産業・市税収入に懸念の声

日野自動車の本社工場移転問題を考えるシンポジウムが
10月7日行われ、約80人が参加し今後の取り組みについて
意見交換が行われました。

主催した「日野自本社工場の移転を考える市民の会」代
表の松尾文彦弁護士は、従業員二千数百人だけでなく家族、
周辺の関連企業の営業や飲食店、学校など、様々な分野へ
の影響が懸念されるとして「どのような問題があるのか、
どのように取り組むかを検討したい」と報告しました。

講演した駒沢大学の小栗崇資教授は「歴史的に日野市と
関わりの深い日野自が、一方的に移転することは企業の社
会的責任を無視するものだ。地域や取引先への影響を及ぼ
さないようなプランを示す責任がある」と述べ、日野自を
傘下に収めるトヨタ自動車の責任にも言及しました。

日本共産党の中谷好幸日野市議は「市長も視察先で知っ
たという。市に対しては一方的な話だ。税収に相当な影響
がある」と発言。移転先の茨城県古河市からは、共産党秋
葉繁市議が参加し「関連の道路建設で市に重い負担がのし
かかり8年間で24億円の負けてやる税金も、いつ返ってく
るのか分からない状況だ」と報告しました。



私自身は、今回で三度目のボランティア
参加でしたが、接する被災者の皆さんの生
活状況は変わっておらず、むしろ寒さが日々
厳しくなっているというのに、必要な衣類
や布団、
暖房器具
などが不
足し、不
安が一層
広がって
いること
を痛感し
ました。



ボランティアに参加した地域の皆さんと



◇放射線測定結果◇

- 使用測定器（HORIBA）PA-1000ラディ γ線測定器
- 実施一中野あきと事務所
- 測定値の単位：「マイクロシーベルト/時」

南平地域 10月19日 曇り

測定場所（いずれも地上5cm）	測定値
川原田公園 南平7丁目 砂場	0.090
側溝の上	0.073
松風公園 南平6丁目 木製ベンチ上	0.091
公園中央部	0.108
鼻どり田公園 南平7丁目 ブランコ下	0.085
公園中央部	0.114
水飲み場	0.052
市立南平西部地区センター 東側入り口	0.105
・児童館（プラネット）周辺 東側広場中央	0.108
東側広場南側	0.136
建物南側	0.104
駐輪場中央	0.110

平山公社住宅地域

10月6日 晴れ

測定場所（いずれも地上5cm）	測定値
8号棟東公園藤棚 ベンチ上	0.093
10号棟時計下 芝生	0.088
12号棟北側 砂場東すべり台下	0.118
12号棟北側 砂場雨水排水口	0.108
15号棟北側 ブランコ下	0.085
17号棟北側 ベンチ上	0.078
18号棟北側公園 芝生	0.087
18号棟南側 緑地	0.096
21号棟東公園 すべり台下	0.090
22号棟北駐車場 雨水側溝排水口	0.085
浅川土手12号棟南 階段上	0.082

◇◇ミニ・ニュース◇◇

■区画整理懇談会開かれる

中野あきと市議を助言者とする区画整理懇談会が、豊田地
域は10月8日、東・西平山地域は10月10日のそれぞれ
開催されました。区画整理の基本や区画整理事業の現状、マ
ンション問題など、まちづくりについて話し合いました。

《11年12月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
12月 8日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。